**第６回河原地域振興会議**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　　時　平成３０年２月１４日（水）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後１時３０分～３時４５分

　　　　　　　　　　　　　　　　　　場　　所　河原町総合支所　第6会議室

**〔出席委員〕**

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、前田達男委員、楮原典子委員、倉信　敬委員、坂本悦子委員、河毛　寛委員、西尾　純委員、荻原元春委員、坂本綾子委員　以上１０名

**〔欠席委員〕**

中村佳紀委員、奥谷仁美委員　以上２名

**〔事務局〕**

野際支所長、九鬼副支所長、西山市民福祉課長、平尾地域振興課課長補佐

**〔傍聴者〕**

なし

**会議次第**

１　開　会

２　会長あいさつ

３　協議・報告事項

1. 新市域振興ビジョンの進捗状況について【資料1】
2. その他
   1. 情報提供「まちの保健室」がやってくる！！

４　その他

５　閉　会

**議事概要**

**１　開　会**

**２　会長あいさつ**

**３　協議・報告事項**

1. **新市域振興ビジョンの進捗状況について**

（九鬼副支所長　資料１により説明）

**１　協働による防犯対策の推進について**

（委　員）夜間防犯パトロールは、1年間やってみて何か直さないといけない点はなかったか。

（事務局）夏休み期間中、午後７時から１時間程度、人が集まりそうなローソンや道の駅、国英駅などを中心に全地域パトロールしますが、特に問題はありませんでした。

（委　員）パトロールをすることによって、非行防止は図られると思うが、防犯カメラを設置するとか、コンビニや警察などと連携を図って何かあったら連絡ができる体制を整えておくなどした方が効率が良いのではないか。

（委　員）河原地区のまちづくり協議会でもパトロールをしたが、地域の親たちがそういう活動をしているという事も子ども達には知ってほしい。あなた達を見守っていますよというところはやはり必要な事なので、全部、警察とか専門のところに頼んで手を放すというのはよくないと思う。専門家的な部分と地域の人たちの見守りもあるというのを併せて行ってもいいと思う。

（事務局）次の計画には皆さんの意見を参考にさせていただきたいと思います。

**2　農業の振興と有害鳥獣対策の推進について**

（委　員）最近、商工会の会員になられる農業法人が増えてきている。商工会でも創業支援、大阪などでの物産販売等を行っており、会員対象の補助制度もある。南商工会なので、用瀬、佐治、河原の方ということになるがそのあたりを広報していただければと思う。

（委　員）昨年果樹園に金網を設置したが、鉄筋を打ち込むハンマーみたいなものを本庁から借りて行った。河原支所にもあると有り難い。

（事務局）どういうものか確認してみます。

（委　員）有害駆除の個体数の４１５頭の内訳は。

（事務局）昨年の１月から１２月までということで、イノシシが１６０頭、シカが１９２頭、ヌートリアが６３頭です。

（委　員）奨励金を出すことが少し励みになっているというのは事実。

（事務局）捕獲奨励金については、シカが１万１千円から１万８千円、イノシシは１万円、１１月から２月の狩猟期は、シカが5千円、イノシシについては出ません。

（委　員）イノシシは冬が美味しい。せめて半分でも補助金が出ないものか。

（委　員）捕獲したものはどこかに持って行っているのか。

（事務局）猟師さんがどう始末されるかです。

（委　員）加工施設に持って行ってジビエで売るとかしないか。

（事務局）販路をどうするかです。やはり個人で消費しててもなかなか追いつかないと思います。

（委　員）加工するには設備が必要。それに保健所の許可がなかなかおりない。

（委　員）北村には解体施設があり、弓河内のグループがミンチまでする機器とか持っているが、実際に加工して販売にまでつなげることができる加工施設がない。振興ビジョンに目標として掲げているのであれば、そういう加工施設が河原町にできればいいと思う。そうすればそこを利用して販売にまでつなげることが出来るのではないか。今盛んに6次化産業と言われているので考えていけると思う。

（委　員）新しいものをつくるのは相当の予算が必要だから、農協などで主体的にやってもらって、それからスーパーに卸すなど考えてみてはどうか。

（委　員）コミュニティセンターの調理室などは、何か問題が起きた時に改善がすぐ出来ないので、専用の厨房というか加工施設でないと取り扱いはしてもらえない。

（事務局）特に肉の加工自体は専門の施設と許可が必要になりますので、なかなか難しいです。

（委　員）保健所の許可が厳しい。特に販売になるとものすごく厳しい。だから公でやっていくと比較的やりやすいのではないかと思う。

（委　員）農協の組合長と話をして、行政と連携して河原に加工施設をつくることも検討してみてはどうか。

（事務局）解体してスライサーで切って真空パックにし、冷凍庫に入れ固めるという状態までは解体する施設で出来ます。ただ販売するには品質を一定にしないといけないので処理の仕方にムラが出てきたりするとむずかしいです。

（委　員）加工したものは鹿野に持って行っているか。

（事務局）北村の解体施設ができるときに組織を作って鹿野のシシボタンの会と連携をとって、品質を一定にして送ろうということになりましたがうまくいってないようです。

（委　員）今後、前向きに検討してみよう。

**3　企業誘致の推進と、移住・定住の促進、若者の流入・定住促進について**

（委　員）河原地区に誘致企業が進出してきているが、そこで働く人の住居の整備をどうするか。市としての方向性を示してほしい。通勤時間が短いのが鳥取の企業の良さだと思うので、県外の方や旧市内から通う方が河原に住まれたら河原地区ももっとにぎやかになると思う。

（委　員）最近、浜村で空き家や古民家を専門的に改修している人がいるようだが、そういう人達にリノベーションとして古民家の改修とかできないか。河原地区でもまち協で空き家の情報を収集をして、情報提供するのは大事な事だと思う。

（委　員）西郷地区は、ヤドカリ部といって空き家対策の専門部を作っている。各部員が区長さんと協力して、それぞれの集落の現状を調べるなど情報収集をしている。各まちづくり協議会も頑張って情報収集などされたらどうだろうと思う。ある程度現状が把握できたらどこから手を付けていこうか、あの家をどうしようかとかいう風に展開できる。

（委　員）食事を出さない民泊の例もある。それに陶芸教室などの付加価値をつけるとか、泊まりたいと思えるような部屋にするなどし、さらに何かキャッチフレーズをつけて、インスタ映えするような施設になれば外国の方たちにも話題になる。

（事務局）まずは西郷のように空き家情報を集積して把握することから始めることが大事だと思います。

**4　子育て・教育環境の充実について**

（委　員）文化祭で「寅さんの風景～千代河原と上方往来河原宿の遷ろい～」という演題で講演があったが、舞台となった旧街道の新茶屋は空き家になっていて、このままにしていたらそれさえも風化してしまうのではないかと思う。古民家で何か付加価値をつけて観光スポットとして博物館のように残せないものか。

（委　員）確かにもったいないと思う。寅さんの銅像とかあると記念にもなると思う。

（事務局）意見として伺います。

（委　員）平成３０年度から勤労者体育館などが指定管理になるが、管理だけでなく地域の人達をどういう風にして繋げていくかなどを考慮して卓球教室などの開催を検討してもらえないか。

（事務局）管理はきちんとしてもらったうえで、独自事業として何か新しいものは開催していただいて良いです。ただ一般利用が最優先になるのが大前提です。意見として指定管理者には伝えます。

**5　観光振興に伴う交流人口の増について**

（委　員）三滝渓を最終的にはどうしたいのかという事をある程度行政も考えておかないといけない。指定管理に出すとしても中途半端になるような気がする。

（委　員）鳥取市には国府の雨滝があるが、今DMOができて、観光ルートを作る時に、滝が2ヶ所も3ヶ所もいらない。三滝は秘境であるのは確かで、それにどう価値をつけていくか、観光客がそこまで行きたいかと思えるような事もしっかり考えないといけない。今まであったから、先人の方が苦労されたから継続するというような考え方だったらいつか朽ちるだろうという気がする。差別化して、行ける所、行きたい所にしていかないと、修繕に2、3千万円もかけるのはもったいないと思う。

（委　員）三滝は、滝としてはすごくいいと思う。秘境だし、それから橋を渡って上に行けばもう1つ滝があると聞いたことがある。できれば整備して、西郷の工芸の郷や用瀬と合わせた観光ルートがきっちり出来ればいいと思う。ただ今の状態を直すとなったらかなりのお金が掛かるのでそこのところが課題である。

（委　員）滝つぼのあたりまで歩いて行けるとか、もっと近場でマイナスイオンを感じたりとか、その方向性をしっかりしていかないと、指定管理を決めたとしても結局今まで通りになると思う。そこは指定管理者が考えればいいというものの、鳥取市の方向性が決まらないとどこに向かっていいか分からないということになる。

（委　員）鳥取市全体としての観光を考えないといけない。点だけを見てても良くない。資源はいろんな所にある。全体のいろいろなところの資源とリンクして連携しないといけない。

（委　員）鳥取市の方向性を決めて、地元の人にやっていってもらえるような形をいかに作っていくかという事が大事だと思う。また、トレッキングなどをやっている地域おこし協力隊員などにも加わってもらえたらと思う。

（事務局）三滝渓の見どころは、吊り橋と滝だと思います。今は修理できてませんが、吊り橋と滝に呼び込む仕掛けをして、将来的には遊歩道を修理したいという思いはあります。その状況を見つつ本庁にも支援をお願いし、地元の力を借りて進めていきたいと考えています。

（委　員）あゆ祭だが、今年は第４０回ということで、４千発の花火をなんとか上げたいと皆で頑張っている。最近は町外の募金が増えているが、誘致企業の方にも協力いただければと思っている。

1. **その他**
   1. **情報提供「まちの保健室」がやってくる！！**

（委　員）３月２４日に鳥取県立生涯学習センターで鳥取看護大学主催の「『まちの保健室』がやってくる！！」が開催される。気軽に住民の方々に集まっていただき健康状態のチェックや講話を聞いたりする。各地区に健康づくりのリーダーを作りたいという事でやっている。西郷地区ではすでにやっておられるが、私は、鳥取看護大学にルートがあるので、それぞれの地区のまちづくり協議会などでやってみたいというところがあれば相談してほしい。

**４　その他**

次回の地域振興会議は、平成３０年４月２０日（金）午後１時３０分予定

**５　閉　会**